

OB 会報
令和 4 年度冬号
発行日 令和 4 年 12 月 13 日

発行元 常盤松自動車倶楽部
TEL/FAX 03-3425-3446(農友会自動車部ピット)
TEL 03-5477-2986(農友会自動車部部室)
E-MAIL nodai-ac-104@team.email.ne.jp
住所 〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 常盤松会館 自動車部
HP <http://nodaiaac104.blog26.fc2.com>

会長挨拶

皆様、お変わりございませんでしょうか。

先日、昭和 39 年ご卒業の片岡二郎元 OB 会長からお誘いいただき、六人会(揖斐 OG、片岡 OB、西原 OB、原田 OB、深見 OG、山寺 OG)の「深見俊夫先輩を偲ぶ会」に出席させていただきました。40 年卒の大島 OB のお店(田園調布レピドール)で、同じく 40 年卒の星野 OB も出席されており、私から現役の状況を報告させていただきました。

新型コロナウイルス感染症が発生してから、なかなか対面で OBOG の親睦を図る機会が作れませんが、今回、久しぶりにこのような会にお招きいただき、年代を超えた「農大自動車部のきずな」を感じさせていただきました。

また、その場で、来る 2024 年の農大自動車部創部 90 周年に向けて、寄付金を頂戴しました。大変、ありがとうございました。

OB会として、昨年の総会で、90 周年記念事業の検討を開始することを決議させていただきましたが、未だに、検討作業のスタートができていない状況です。会長として、皆様にお詫び申し上げます。

片岡元会長にお会いして、90 年の歴史が紡いできた OBOG の皆様の農大自動車部への思いを感じ、あらためて記念事業を実施して、成功させたいと強く感じております。

つきましては、皆様、特に若い世代の OBOG には、90 周年に向けて、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

2022 年 12 月
会長 水野 政純

新歓 PV URL

新歓活動の一環として、OB 有志に協力してもらって作成したPVを公開しています。是非ご覧下さい。

https://twitter.com/nodai_ac/status/1308763447006392320



農大自動車部 twitter アカウント(@nodai_ac)からもご覧いただけます。



軽耐久参戦記 (OB 戦)

大塚 隆一 (平成3年度 短農卒)

さる10月23日(土)青空のもと、長野県スポーツランド信州において開催された「第25関東学生対抗軽自動車5時間耐久レース(一般の部)」に、感染症対策を図りながら常磐松自動車倶楽部を代表いたしまして参加してまいりました。

自分が62号車と67号車ヴィヴィオを預かりメンテナンスするようになって5年目ですが、今回で3度目のチャレンジとなりました。

過去、1度目のチャレンジは、2018年67号車で参加し、わずか6周でサスペンショントラブルリタイア。2019年はコロナ禍で中止。2020年は台風災害により中止。2度目のチャレンジとなった2021年には、62号車 で参加しましたが、順調に周回を重ねるも78周、またもサスペンショントラブルでリタイアとまったく結果を出せておりませんでした。

この結果は、すべてにおいて車両整備を担う自分の確認不足が原因であり、応援、参加していただいたOBOG各位に大変申し訳なく、お詫び申し上げたいと思います。

このくやしさと反省点を生かすべく、今回こそは「2度あることは3度ある」とならないよう、62号車ヴィヴィオのサスペンションを中心に、念入りに整備チェックしたうえで、行木君や当日の木村君をはじめとした第三者のチェックを実施いたしました。また、参加にあたっては、目標を「完走」と初心に戻って大会に挑みました。

おかげさまで今大会では、皆さんの協力もあって参加校12校16チーム中、6位(134周)の結果を何とか残すことができました(優勝は早稲田143周)。

特にドライバー交代のたびに、時間はかかってもサスペンション周辺のチェックを実施しましたことも、最後までトラブルなく完走できた一つの要因ではないかと考えております。

昨年の廣川先輩からいただいた言葉どおり、「3度目の正直」を実践することができたことで、少し安堵しているところで

す。また来年に向けて、この結果に満足することなく車両を整備していきますので、みなさんの参加とご協力をよろしくお願いいたします！！

最後に、水野会長、鈴木先生、石川監督、岡事務局長、柳川コーチ、廣川先輩、中里先輩、杉原夫妻、浮貝君、古谷君、井出さん、木村君、望月君、吉川さん、現役の学生たち、影ながら応援くださったみなさんに感謝を申し上げます。



吉川 瑠美(平成30年度 森林卒)

このたび久しぶりに軽耐久レースに参戦いたしました。お誘いいただきありがとうございました。

また、車両作りや大会参加までの準備にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

現在私は長野県住みで、この軽耐久レースには今まで応援という形で参加していましたが、今回ついにOB戦デビューということになってしまいました。

最近、野沢温泉村にあるモーターランド野沢にてダートトライアルを楽しんでいる身(ミラージュ乗りです)としては、スポーツランド信州のダート場も大変恋しく思っており、本当にいい機会でした。

さて、当日の様式ですが、OB戦はここ最近完走ができていないと聞き、今回の最大の目的は、完走すること。ということでした。

井出先輩、吉川、望月、廣川先輩、杉原先輩という走順で、井出先輩からいい順位でバトンを受け取りましたが、...やはり軽耐久は難しいですね。タイムトライアルではなくレースなので、周りの車との駆け引きが大事になります。抜かずタイミングと場所がすごい上手い他大がいたので真似しようとしたのですが、私の度量と技術ではうまくできず、微妙に抜かせない前の車についていけなくて終わってしまいました。ちょっとこれが心残りですが、車を壊すことなく戻ってこれたのでよかったです。(現役時代はことごとくリタイヤ三昧！)

結果は134周6位と、半分以上に食い込み、当初目標だった完走を果たすことができました！！

しかし高順位を目指すとなると、やはりレースのための技術を身につける必要があると感じました。またこの先機会がありましたら是非参加したいと思います。

まだOB戦に参加されたことのない方も、手を上げていただけると嬉しいです。H30卒以下の方なら、望月が焼肉をおごります。

最後にお知らせ モーターランド野沢では毎年5戦、ビギナー向けのダートトライアルが開催されてます。学生なら(おそらく)破格の値段で参加できますので、参加される方は吉川にご連絡くださいませ！

OB 近況報告

石山 高広(平成12年度 経済卒)

平成12年度くらいに単位ギリギリで卒業した、石山と申します。拙い文章ですが最後までお付き合いください。

卒業して2019年まで養豚業をしておりましたが、火災を出してしまい廃業し、現在は(有)motto(もっと)に社名を変更し、果物を生産する会社を運営しています。

『田舎の空気と時間を届けます』をモットーに、さくらんぼ、桃、シャインマスカット、ラフランス、ミニトマトなどを生産しております。みなさんからの注文お待ちしております。

火災の際はたくさんの先輩、後輩に励ましをいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。どうもありがとうございました。心に染みました。

近況報告は以上です。少し昔話をさせてください。私が学生の頃は学業そこそこに、ガソリンスタンドで必死にアルバイトをし、学生の身分で車を所有していました。

最初は先輩から1万円でEP82を譲ってもらい、次にEF7を3万円で、そして30万円でAE86を購入しました。当時ハイオクもバイト先の社割を使い95円程度、脱炭素なんて言葉もないし、部室にも泊まり放題とモータースポーツをする環境としては最高でした。そして部長先生、監督をはじめとするコーチのみなさんには愛のある厳しい指導をしていただき、今でも大変ありがたく思っております。また当時のキャラクターの濃い先輩後輩や他大の同級生たちに巡り合え、今でも交流があることが私の宝物になっています。妻も当時は後輩でした。今は私が後輩みたいになってます…

そして何より嬉しいのが、4年生当時に勧誘し、共に同じ釜の飯を食べた石川君が監督をされている事です。石川君の同級生がそのサポートをしてくれているのもまた心強く感じます。石川監督は走りのセンスはありながらミスコースばかりするので、坊主にさせたような記憶があります。頭を刈ったのは皆でやりました。

現役のみなさん、自動車部を満喫していますか。4年間はあっという間です。やってみたい事はどんどん監督に提案してください。それを受け止めてくれる器量が石川監督にはあります。現役の皆さんにとって何処の馬の骨かわからない、石山が保障します！

また、協力したいと思っているOBの方は案外多いはずです。お金や知恵や元気や物資を持って余しているOBを上手に使ってください。自動車部が数多くの出会いと経験の場になるよう山形から応援しております。



追伸 最近フィアットの初代パンダを買いました。

富田 泰輔(平成 24 年度 経済卒)

皆様、こんにちは。平成 24 年度卒(学校自体は 26 年度卒)の富田です。現在1年間のフリーター生活、2年間の専門学生を経て、市川市の訪問看護ステーションで言語聴覚士として働いております。仕事内容は病気がきっかけで失語症や高次脳機能障害、嚥下障害を呈された方への評価やリハビリの実施です。リハビリというと病院で行うイメージがありますが、私の場合は直接ご自宅にお伺いし行います。在宅でのリハビリは身体機能の維持向上だけでなく、活動や社会参加など実際の生活を支援することが重要です。利用者さん・患者さんの生活環境、性格… 様々なことを考慮してリハビリ内容を立案しなくてはなりません。正直、「キツイな、辞めたいな」と思うことはあります。しかし、うまくいったときや感謝のお言葉をいただいたときはやりがいを感じます。経験年数5年ともなるとメインの仕事以外にも新人教育や実習生指導、自治体が主催する会議への参加などなど… 疲れる業務が多いですが、大きな病気や怪我はせずに過ごせていることに感謝です。仕事に関する話が多くなりました。話題を変えましょう。

今夏、全日ジムカーナの大会にお邪魔させていただきました。部にほぼ顔を出していなかったもので、最近の様子に気になっていたのです。仕事の後に碌な仮眠も取らずに高速へ。若干(?)危ない運転ではありましたが、無事鈴鹿に到着。学生だった頃の感覚が蘇ってきました。今回は女子のみの出場とのことで女子の部を拝見しましたが、私が現役だった時より出場選手が増え、運転技術も全体的に向上していることに驚きました。その他は… 一睡もせずに会場入りしたので覚えておりません… 申し訳ありません。30 歳中盤になると無茶はできませんね。

最後に… 現在の現役部員さんたちには、今やりたいことを是非取り組んでいただきたいです。学校を卒業して、働くようになって「あの時、ああすればよかったな」と思うことがないように。学生生活は短いです。コロナが中々収束せず、大変なことも多いと思いますががんばりましょう。

学連だより

本稿を書いている 11 月末の時点では、連盟の公式戦は、関東支部、全日本ともに終了しています。残りは、総会と朝日新聞主催で連盟が後援している「GT College League 2022」の決勝戦を残すのみとなりました。「GT College League 2022」は、「グランツーリスモ」による e スポーツです。ご存じの方も多いと思いますが、テレビゲームとあなどれないリアルさで、バーチャルでサーキットでのレースに出走することができます。F1 レーサーもこのゲームで練習しているとのことです。11 月に行われた予選を農大自動車部は見事に勝ち抜き、12 月 18 日(日)に決勝戦が東京で開催されます。現役の活躍を期待しています。

前回会報の学連だよりでも触れさせていただきましたが、スラローム車両規則の見直しが進んでいます。1 月の全日本総会で規則書改正案の決議をとる予定です。新規則への移行期間を設けますが、新たな車両を調達する必要が出てきます。現行のシビックを中古車で調達するよりも安価な車種が選択できるようにする予定です。ますます、現役へのご支援をお願いいたします。

水野 政純

現役だより

★新入部員紹介

本橋 由吉(もとはし ゆきち) 国際食料情報学部 国際バイオビジネス学科 1 年

愛知県の大須の病院で生まれて、神戸と東京で育ちました。元々は鉄道が好きでしたが、中学校の時に頭文字 D を友人に読むように言われ、その結果車好きにもなりました。その影響で初代 NSX や RX-7(FD3S)、R32GTR 等が好きです。趣味は鉄道模型の収集ですが、それにお金をかけすぎると車を購入する為の貯金ができなくなります。将来車を所有した時の為にも色々知っておきたいので入部しました。機械的な知識がありませんが、先輩から一生懸命学ぼうと思います。よろしくお願ひします。

★現役近況報告

押忍！4 年増本です。

今はオフシーズンということで最近の活動では練習車の EK4、EP91 の整備を主に進めています。試合車はよく手入れしていますが、練習車は久しぶりに動かそうとしたら勝手に壊れていたりして大変です。今年の1年生は運転が上手なので来年の新人戦が楽しみです。フィギュア、ジムカーナ、ダート(軽耐久で)1 通り練習しましたが全部センスあります。教習車のプロボックス、個人車、グランツーリスモでたくさん運転していることが運転技術に繋がっているのだなと思います。

自分はそろそろ引退ですが、ガッツ溢れる部員のみんを見ているこれからの農大自動車部はもっと強くなれると思うので OB、OG の皆様応援よろしくお願ひします！

別件ですが、10月9日にエンパイヤ自動車主催「SPARCO Challenge Cup」というレンタルカート2時間半耐久レースに参戦しました。カートを若い世代に楽しんでもらおうという企画で自動車部は無料で招待していただいたので有志4名で参戦しました。午前にはカートの乗り降りの仕方、マナー、ルールなどを教えていただき模擬レースをしてから午後からレース開始しました。結果は27チーム中6位で自動車部チーム10校の中では2位でした。耐久レースではありましたが、各自ベストラップを目指して走り楽しむことができました。今後もこういうイベントがあると嬉しいです。



★軽耐久参戦記

押忍！3年高田です。

去る10月23日、第25回関東学生対抗軽自動車5時間耐久レースに参戦しました。3.4年生にとっては2回目の、1.2年生にとっては初めての軽耐久です。

昨年の軽耐久では、スタートから2時間30分を経過したところで足回りを破損、ピットで修復作業をしてなんとかコースに戻すも、4時間56分を経過したところで横転。失格リタイヤとなってしまったため、今年の軽耐久はvivioの復活から始まりました。

今年の軽耐久の目標を「完走すること」に定め、復活整備は全日ジムカーナが終わった直後の9月から取りかかりました。両側のドラシャの交換は必要でしたが、エンジンにダメージはなく、セル1発で掛かりました。割れたフロントガラスを剥がし、クロスメンバー、Aピラー、ルーフを板金し、買ってきた新品ガラスを取り付け、部品取りのvivioからドアパネル、フロントフェンダー、ボンネットを移植し、とりあえず走れる状態になりました。綺麗に1回転して着地したおかげか、思ったよりも手が掛かりませんでした。

新たな取り組みとして、足回りやエンジンマウントのボルトにネジロック剤を塗布して耐久レースの車両としての完成度を高める取り組みも行いました。昨年の足回り破損の反省を生かす作戦です。この作業は1年生がメインで行い、足回りの仕組みを理解する良い機会になりました。

2回の講習会で全員がライセンスを取得することができ、車両とコースへの理解を深めた状態でレース当日を迎えました。前日のOB戦での先輩方の熱い走りに刺激を受け、朝からやる気に満ちていました。車両の整備や走行練習など、目標である「完走」を達成するために出来る準備はやりきったので、あとはドライバー9名が集中して走りきるだけです。

スタートは15番目からでしたが、1時間終了時点で7位、2時間終了時点で6位、3時間終了時点で7位、4時間終了時点で4位と、他のチームが横転や車両トラブルで止まっている間にも着実に周回を重ね、順位を上げていきました。最後の1時間はピットインのタイミングが上手くハマったこともあり、3位でゴールすることができました。ドライバー9名は出場チーム中でおそらく最多でした。ピットインの回数の多さでロスする時間を、ノートラブルで走り続けることで回収した結果、表彰台に乗ることが出来たのだと思います。

レース形式の大会は年に1回しかありませんが、レースの楽しさに気付きました。準備期間も含めてみんなで楽しめました。

大会参加にあたり、OBOGの皆様には、オフィシャルのご協力、宿泊費の補助、食べ物や飲み物の差し入れなどを頂き、とても助かりました。本当にありがとうございました。

来年の軽耐久では優勝を目指します！！



★GT College League 2022 参戦記

押忍。1年齋藤です。

大会3ヶ月ほど前から練習を始め、詳細なレギュレーションが発表されるまではとにかく鈴鹿を走り、ライン取りやタイムの向上に努めていました。レギュレーションが発表されてからは今まで通りの練習に加え、本番のレースを想定してレースをしたりタイヤ選択をどうするかなどの話し合いも行いました。ただ、本番を想定したレースといっても対人戦ではなくAIとのレースだったので相手がどれくらいの速さで来るのか大会本番まで未知数だったので不安がありました。大会出発前日に最後の練習をし、当日を迎えました。

予選タイムトライアルは全体8番手とまずまずの滑り出しとなりました。予選結果からグループ分けが行われ、農大はグループA(中央・農大・日大・関西学院)の2番グリッドからのスタートになりました。レースではソフト、ミディアム、ハードの3種類のコンパウンドのタイヤを使用することが義務付けられており、農大はミディアムスタートを選択しました。レーススタート、中央が抜群のスタートを決めトップを快走、違った意味で戦線を離脱していきました。農大は順調に周回を重ね2番手のままピットイン。ミディアムからハードにタイヤを変更しました。ところがタイヤ交換後3周目、1コーナーでコースアウトを喫し3番手に後退、日大に順位を奪われます。決勝大会に進めるのは予選レースの上位2校までなので農大には苦しい展開となりました。しかしその直後日大がまさかのタイヤ選択ミスを犯していることが発覚し、他大学よりピット回数が多くなるという状況になっていました。その結果日大のピットインの間に農大は2位に返り咲くことができ、最後のタイヤ交換を終えた後も2位を走り続け見事グループA2位、決勝大会への切符を手に入れることができました。

大会当日は緊張もしましたがそれよりも非日常感のわくわくの方が上回りとてもおもしろかったです。グループ分け的に自分達はレースが終わってから他大学のレースを観戦することができたので安心して見られてよかったです。

スーパーフォーミュラは一度観に行ったことがあるのですが、やはり生で見ると音の迫力や一瞬で駆け抜けて行くスピード感、匂い、全てが最高で楽しかったです。



予選大会のダイジェスト動画と決勝大会の予告動画はこちらでご覧頂けます。



[【予告】GT College League 2022 - YouTube](#)

大会ホームページはこちらから！選手紹介やレギュレーションをご覧頂けます。

12月18日(日)の決勝大会はライブ配信される予定です。詳細は大会ホームページをご確認ください。応援よろしくお願いたします！！



[GT College League 2022 開幕！ | 朝日新聞デジタル \(asahi.com\)](#)

大会結果報告

《スパルコチャレンジカップ》

10月9日(日)に桶川スポーツランド(カートロングコース)にて開催されたスパルコチャレンジカップ 150分耐久レースの結果を報告いたします。

- 1位 SKP サブスクの会(191周)
- 2位 ちびっこカートクラブ with AKC(190周)
- 3位 テクノマスターズ埼玉(188周)
- 6位(大学自動車部 2位/10校) 東京農業大学農友会自動車部(181周)

《第25回関東学生対抗軽自動車5時間耐久レース》

10月22日(土)、23日(日)に信州スポーツランドにて開催されました第25回関東学生対抗軽自動車5時間耐久レースの結果を報告いたします。

・OB/一般の部(全15チーム)

- 1位 早稲田大学 OB チーム(143周)
- 2位 日本スポーツカークラブ(137周)
- 3位 法政大学 OB(137周)
- 6位 東京農業大学 OB チーム うさぎ(134周)

・加盟校の部(全12チーム)

- 1位 慶応義塾大学 A チーム(100周)
- 2位 東海大学(96周)
- 3位 東京農業大学 農友会自動車部(94周)

《GT College League 2022 予選大会》

10月29日(土)に鈴鹿サーキットにて開催されました GT College League 2022 予選大会の結果を報告いたします。
予選 A ブロック 2位 (他のブロックも含め、全19校出場)
この結果により、12月18日(日)に行われる決勝大会への進出を決めました。

令和5年度・今後の部活動について

令和5年度の活動・大会予定になります。詳しい日程が出ましたら、お伝えします。
お時間ありましたら是非、ご指導・応援などよろしく願いいたします。

<2022年>

・12月18日(日) GT College League 2022 決勝大会(ポリフォニー・デジタル東京スタジオ)

<2023年>

- ・1月15日(日) OB 総会・新年会(ZOOM)
- ・2月11日(土) 新人ジムカーナ大会 富士スピードウェイ(暫定)
- ・3月下旬 全関東学生自動車運転競技選手権大会
- ・5月中旬 全関東学生ジムカーナ選手権大会
- ・6月中旬 全関東学生ダートトライアル選手権大会
- ・7月下旬 全日本学生ダートトライアル選手権大会
- ・8月中旬 全日本学生ジムカーナ選手権大会
- ・10月下旬 関東学生対抗軽自動車5時間耐久レース
- ・10月下旬 GT College League 2023 予選大会
- ・11月下旬 全日本学生自動車運転競技選手権大会
- ・12月中旬 GT College League 2023 決勝大会

令和4年度OB総会について

今回は、かつての新春ラリーの開催日に合わせて、令和5年1月15日(日)13時から開催いたします。
今年も新型コロナウイルスの感染防止の観点から、一堂に会せず、Zoomミーティングで総会を開催させていただきます。
ぜひ、ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【Zoomミーティング URL】

<https://zoom.us/j/99666027945?pwd=Nzc5QkdKckdsMk91aHEveDZlc0llUT09>

ミーティング ID: 996 6602 7945

パスコード: 585301



【議題】①令和4年度事業報告 ②令和5年度行事予定 ③会計報告 ④90周年記念事業について ⑤現役報告

総会終了後、Zoom新年会を行います。
ご参加いただける方は飲み物・おつまみなどをご用意ください。15時終了を予定しております。

常磐松自動車倶楽部名簿について

毎年作成している住所録をさらに正確なものへと再編集を行っております。下記の方々の現住所やご連絡先等をご存知の方は自動車部部室までご一報いただければ幸いです。

また、編集側の不手際により、ご連絡いただいているにもかかわらず名前が残っている先輩がいらっしゃいましたら申し訳ありません。毎年ご協力いただきまして本当にありがとうございます。

現住所不明者(順不同) 敬称略

高橋憲一、下山伝三郎、竹中正三、田井汪、築山徹、谷中俊夫、伊野部勝之、岩村宏典、富田詳三、野中良輔、山根博邦、岩浪淳一郎、藤本一久、岩田晴雄、鈴鹿靖、池淵純、小島省三、中村光扶、永嶋秀夫、森井康雄、古川篤子、小山靖子、毛利タキ子、羽住勢以子、平田圭、嶋原厚子、芳野一恵、中山義也、伊藤建夫、越前栄子、大高正俊、徳江清東、早川富雄、向井泰治、大島孝史、石田真、津雲保、平野均、阿部高之、笹沢達雄、門伝恵、猪狩由美子、敷井正人、石丸寿、林亨、原田宣典、森口徹、高橋慶子、石橋敬子、川村佳郎、俊成典和、小川光児、小松崎正行、瀬野英樹、山下俊之、小山るい、柴田倫子、関根浩司、中山靖之、岩崎哲史、柳沢麻美、田村芳広、有附仁、塚田昌樹、榎本翔、倉本武志、寺尾進、大和喜八郎、石田安弘、佐藤浩之

今後の OB 会報について

以前からお知らせしていることですが、資源と経費の削減の為に OB 会報をメール配信にしていきたいと思っております。メールでの配信を希望される方は部室にご連絡ください。

すでに連絡をいただいているOBの方は問題ございません。

E-MAIL nodai-ac-104@team.email.ne.jp

会費納入のお願い

OB 諸兄には、日頃より物心両面に亘って自動車部活動にご協力いただき誠にありがとうございます。例年のとおり「OB 会報」にてOB会費納入のための振込をお願いしておりますが、現在平成 20 年からの会費を 6 割以上払って頂いている方が全OBの 13%であり、その方々が現在の会費の 68%を賄っている状況です。合宿や対外試合、夜遅くまでの整備などクラブ活動を通じて培った、友人、先輩後輩の固い絆で結ばれた『常磐松自動車倶楽部』の持続的発展のために、本年も会費納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、新しい試みとして、コンビニ支払いやスマートフォンによる支払い方法を導入しましたので、是非ご活用ください。

年会費は 1 口 5,000 円で、できましたら 2 口以上のご協力をお願いいたします。

三井住友銀行 経堂支店「597」 普通「6826180」

常磐松自動車倶楽部 会長 水野 政純

ゆうちょ銀行 金融機関コード「9900」 店番号「019」 記号「00180」

CD/再発行番号「9」 番号「658391」

加入者名「常磐松自動車倶楽部」

☆年会費のお支払いが便利になります！

平日に郵便局や銀行に行く時間が無く、もっと支払いが簡単にならないかといった要望を以前より頂いていました。この度、新たな支払いのシステムを追加させていただきます。また、継続して三井住友銀行、及びゆうちょ銀行口座への直接振込みもご利用出来ます。

① コンビニで年会費の支払いが出来るようになります！

コンビニのレジで払込票を提出し、表示された金額を確認後お支払いください。
お支払い頂いた履歴は OB 会事務局で確認されます。
(郵便局でも払込票はご利用出来ます。)



←払込票の参考画像

② スマートフォンでもお支払いが可能です！

スマートフォンアプリ「ゆうちょ Pay」や「Pay B」でお支払いが出来ます。



ゆうちょ Pay —
あんしん&べんり…
身近なゆうちょで毎日のくら…

開く



PayB

ピリングシステム株式会社

入手

「使い方」

アプリをダウンロードして口座や金額チャージの設定を完了してください。

上記払込票のバーコードをアプリのカメラを起動して読み込ませます。

金額を確認し、支払いの手続きをします。

※お支払い金額について

払込票でのお支払いは、システム利用手数料・郵送費用等として500円を別途載きます。

「年会費5000円+手数料500円=計5500円(払込票に記載金額)」

大変恐縮ですが、何卒ご理解賜りたく宜しくお願い申し上げます。